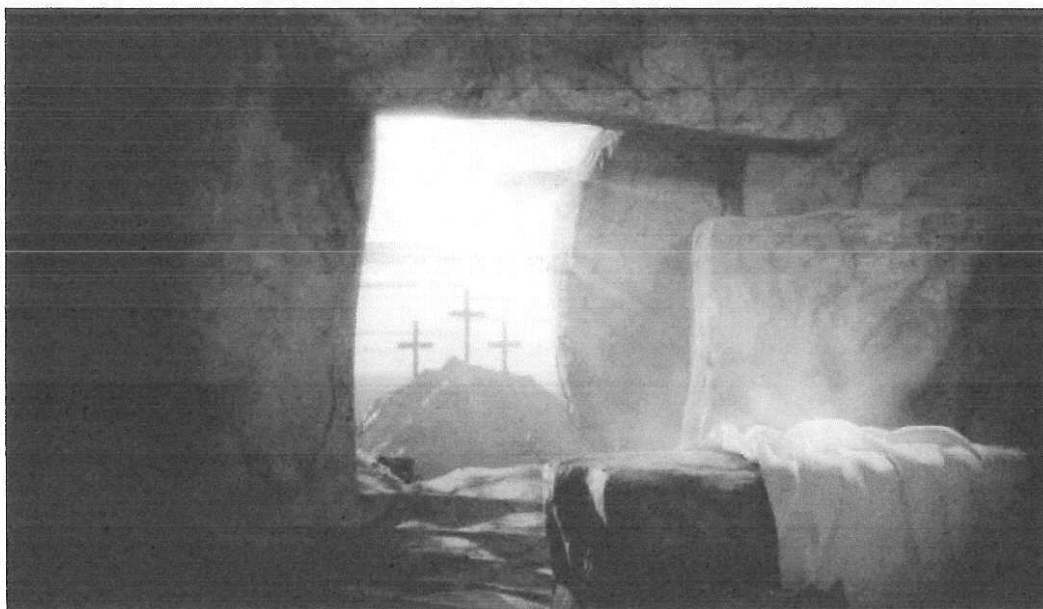


〈創造主の御計画〉

エレミヤ29：11～13



2026年の抱負は何？

抱負・・・心の中で決意を抱き、それを自らが背負って達成しようとする事。

・ストレス過多な時代。最大のストレスは・・・？

・「書くだけで人生がうまくいく嫌なことノート」

嫌なことは避ける、考えない。でもここに祝福が詰まっていた！

わたしはあなたがたのために立てている計画をよく知っているからだ。―主の御告げ―それは
わざわざではなくて、平安を与える計画であり、あなたがたに将来と希望を与えるためのものだ。
あなたがたがわたしを呼び求めて歩き、わたしに祈るなら、わたしはあなたがたに聞こう。もし、
あなたがたが心を尽くしてわたしを捜し求めるなら、わたしを見つけるだろう。【11～13節】

力強い希望にあふれた神からのメッセージ。しかしこれは、
国が滅亡する寸前、お先真っ暗の中に置かれた人々に語られた。

「希望とは真逆」の現場で、エレミヤは「平安と希望」の計画を告げた。

エレミヤによって書かれた哀歌

人が、若い時に、くびきを負うのは良い。それを負わされたなら、ひとり黙ってすわっているがよい。
口をちりにつけよ。もしや希望があるかもしれない。自分を打つ者に頬を与え、十分そしりを受けよ。
主は、いつまでも見放してはおられない。たとい悩みを受けても、主は、その豊かな恵みによって、
あわれんでくださる。 哀歌 3:27～32

回復のための手立てはどこにも見当たらず、ただ沈黙するだけ。無力さを痛感する。
しかしエレミヤは、沈黙して待つことの意味を見出した。それは・・・
神ご自身が共におられること。その臨在。

問題につぶされそうになって、祈ることができない！

御霊も同じようにして、弱い私たちを助けてくださいます。私たちはどのように祈ったらよいかわからないのですが、御霊ご自身が、言いようもない深いうめきによって、私たちのためにとりなしてください。人間の心を探り窮める方は、御霊の思いが何かをよく知っておられます。なぜなら、御霊は神のみこころに従って、聖徒のためにとりなしをしてくださるからです。

ローマ 8：26、27

エレミヤ書の預言は、直接的には捕囚とそこから解放する人々に対しての言葉。
しかし、これはメシヤ、御子キリストによる「救いの希望」の約束の言葉。

もし、あなたがたが心を尽くしてわたしを捜し求めるなら、わたしを見つかるだろう。【13節】